

KASAI データバンク 人口 / 48,980 (-229) 世帯数 / 16,986 (-61)
 H21.3.31 現在 (前月比) 男 / 23,825 (-101) 女 / 25,155 (-128)
 3月の出生数 / 26人 死亡数 / 59人



▲高市副大臣より同意書を交付される中川市長

企業立地を促進するため地域基本計画を策定

加西市は、企業立地促進法に基づく「加西市地域基本計画」を策定し4月8日、中川市長が経済産業省において高市早苗副大臣より同意書を交付されました。

この基本計画は、目標年次を平成25年度とし、企業立地件数を6件、製品出荷額増加額を211億円、新規雇用創出件数を500人と定めています。

計画を策定することで、立地する企業が特別償却の適用を受けることが可能となり、地方自治体に対して対象企業の固定資産税を減免した場合、その4分の3の額を3年間交付税措置される等のメリットがあります。

加西市では今後、この計画を最大限活用し、企業誘致に努めてまいります。

加西・加東広域連携バイオマス事業懇談会

加西市は、平成17年11月に近畿の自治体で初めてバイオマスタウン構想を公表し、環境事業に取り組んでいます。

3月23日、加東市の山本市長との間でBDF事業推進について懇談会が行われました。現在、加東市の給食センターや、社工業団地内の企業にも協力いただき廃食用油回収を行っています。また、加西市からのBDF供給も予定しています。今後も、北播磨地域内での資源循環リサイクルを進め、自治体の枠を超えた広域連携により、低炭素社会の構築をめざしていくことが確認されました。



▲BDF事業推進について懇談した山本市長(左)と中川市長



▲リンパマッサージ実施中

恋愛力UP & お肌きれい

北部公民館で、5月より本格始動する「婚活セミナー」に先駆けて、3月8日にアスティアかさいで、プレ講座を開催しました。

フェイシャル(美顔術)では、血行の流れを良くするリンパマッサージを体験し、その後の顔や肌の変化に驚きの声!

恋愛力講座では、『第一印象は30秒で決まる』をテーマに、それぞれの恋愛観や結婚について語り合い、女性同士で大いに盛り上がりました。



▲一乗寺を巡るコース。歴史ガイドボランティアが説明

加西ロマンの里ウォーキング

今年で6回目を迎える市体育協会主催の「加西ロマンの里ウォーキング」が3月20日に開催されました。

市内外から参加した約230人は、北条鉄道法華口駅から鶏野飛行場跡の戦争の足跡をたどる6kmのコースと、昨年3月に本堂の改修を終えた法華山一条寺を巡る10kmのコースに分かれ、豊かな自然と歴史あふれる加西を満喫しました。

ウォーキング終了地点となる法華口駅では、地元産の野菜等を販売、完売するほどの大盛況でした。

チェーンソーを使用して作った猪の親子

4月7日、里山保全に取り組む環境団体「木縫の里」を主宰する絹川武史さん(西脇市)より、クヌギの木をチェーンソーで削りだして作った猪の親子の置物を寄贈いただきました。

与作プロジェクトのPRを兼ね、早速、市役所正面玄関ロビーに設置。愛らしい2匹の猪が市民の皆さんをお出迎えします。

製作者の絹川さん(左)。この猪の置物はとても丈夫でベンチとしても利用可能 ▶



▲境内を練り歩くみこし

乎疑原神社の天神祭り

学問の神様として知られる、菅原道真をまつる乎疑原神社(繁昌町)で3月25日、命日にちなんだ祭り三月例大祭が開かれました。

法被を着た地元の子どもたちが、花などで飾ったみこしを担いで境内を練り歩き、特設会場では能や民謡も披露され、多くの参拝客らで賑わいました。

山王神社の申祭り

山王神社(河内町)で4月5日、申祭りが行われました。同神社は申が使者とされ、以前は4月の申の日が祭日でしたが、現在は4月の第1日曜日に実施されています。朝9時に屋台が出立し、町内を隈なく練りまわり、神殿で日吉神社宮司のご祈祷を受けました。

僅か一基の屋台ですが、個性的で歴史的な価値の高いものと言われ、地元の人たちに大切にされています。

ふるい歴史を持つ個性的な屋台 ▶



▲5日の住吉神社への宮入りの模様

春の訪れを告げる北条節句祭り

「播磨路に春を呼ぶ」と言われる播州北条節句祭りが4月4・5日、北条町北条の住吉神社などで行われました。

東西2台の神輿と12基もの屋台が次々と勇壮に宮入りし、900年近い歴史を持つ古式ゆかしい龍王舞、鶏合せ等の神事は、正に時代絵巻さながらの光景。今年は、南町屋台のまじりに、初めて女の子が乗り子として屋台に乗り、まつりを盛り上げました。